

令和6年度 第1回 鯖江警察署協議会 開催結果

1 日時
令和6年5月27日（月）午後3時30分から

2 場所
鯖江警察署

3 出席者
(1) 協議会委員 6名
(2) 鯖江警察署 署長以下10名

4 内容
(1) 委嘱状伝達
(2) 警察署長挨拶
(3) 協議会会長挨拶
(4) 自己紹介
(5) 議事

ア 鯖江警察署の業務運営説明

イ 質疑応答

5 質疑等

【委員】

刑事課として、どのように特殊詐欺被害防止対策をしていくのか。

【警察】

犯人の検挙に力をいれていく。犯人を割り出すのに重要となる客観的証拠を得るため、防犯カメラの設置を拡充していく。

【委員】

駐輪場に設置されている防犯カメラの映像から、犯人逮捕に結びつくことはあるか。

【警察】

県内では駐輪場に設置された防犯カメラの映像から犯人を割り出し、検挙した事例がある。

【委員】

防犯カメラが非常に役立つのは理解できた。自転車盗の発生は、無施錠の場合が多いと聞くので、利用者に対して自転車の鍵かけを呼びかける啓発活動が必要になると思う。

【委員】

酒臭のする運転者がいた場合、警察に通報したほうがよいのか。

【警察】

発見した時点で通報を頂きたい。

通報がためられる場合には、昨年、飲酒運転に関する情報をメールで受け付けられるよう立ち上げた、福井県警察のホームページにある「飲酒運転ダメール」を活用して頂きたい。また、メールとは別に、電話で情報を頂く「危険運転ストップダイヤル」もある。緊急の場合は110通報を頂きたい。

【委員】

高齢者が免許更新をせずに、生活の必要性から車両を乗り続けた場合、ど



うなるのか。

【警察】

免許更新せず運転すれば無免許運転となる。

有効期限のある免許証を強制的に返納させることは難しいため、運転に支障があるおそれの高齢者の方には、その家族に働きかけ、自主返納を促させて頂く。現在、交通課では、免許返納をされた高齢者に対して、「卒業」という形で、労いをもって拍手し、送り出す取組をしている。事故を起こしてからでは遅いため、家族の了承を得ながら、自主返納の働きかけを行っている。